

2024年度 防災会事業実施報告

2025年3月31日

防災会規則		第4条 本会は、前条の目的達成のため、次の事業を行う
No.	項 目	報 告 事 項
1	防災についての知識の普及に関すること	① 防災だより第65号 6月22日発行 1.防災会長からのメッセージ 2.組織と防災訓練スケジュール ② 防災だより第66号 3月30日発行予定 1.2024年度防災活動まとめ 2.火の用心巡回 3.防災フェスティバル開催 ★防災フェスティバルを通じて防災会活動への参加を呼び掛けた。
2	防災訓練の実施に関すること	① 第1回防災訓練(放水) 9月28日(土) 茅ヶ崎市消防本部2名の指導の下、一般会員11名、班長31名、防災会8名(合計50名)で訓練実施。 今年度は東公園前から西公園前に場所を変えて開催した。参加者皆さん、熱心に訓練に取り組んでいただき防災啓蒙に繋がった。 ② 安否確認(白いタオル)11月16日(土) 茅ヶ崎市に震度6強の地震発生想定で訓練実施。 タオル掲示408戸(73%)と昨年比6ポイント低下。在宅だが表示なし70戸(13%)、不在80戸(14%)。「在宅だが表示忘れ」をいかにしてゼロに近づけるか今回も課題が残った。
3	防災用資機材、機材の備蓄及び維持管理に関すること	① 防災用資機材の性能点検 年4回を2回に変更し実施。 実施月9月、3月 ② 防災本部用テント更新(西倉庫) 南倉庫保管2基、東倉庫保管1基に続き本年度西倉庫用1基をワンタッチ式2.4×3.6mテントに更新。天幕色は南が青、東が緑、西が黒として色分けした。 ★特記事項 昨年度、内径65mm式ホースと専用ポンプ・筒先等を茅ヶ崎市に寄付し、市が推奨する40mm対応ホース格納箱の有効利用に方針転換した。 資機材点検も回数を減らし、防災会メンバーの負担軽減に取り組んだ。
4	その他、本会の目的達成のため、必要と認められること	① 防災リーダーフォローアップ研修 7月1日～20日基礎・実技他5講座開催され延べ8名を研修に派遣 ② 防災拠点(避難所)打合せ参加(5・6月) 香川小学校、鶴が台中学校各1名 ③ 2月1日県防災センター研修2名参加 ④ 防災啓蒙活動 ・防災フェスティバル開催 200名を超える参加者を動員出来た。 ⑤ 自治会および他団体との協業 ・火の用心巡回 ・要支援者会議(5月、11月)
5	総括及び課題	★1 総括 メンバー縮小の中、訓練に加え防災フェスティバルを通じ啓蒙活動を進めた。 1. 安否確認訓練での安否把握率は昨年度を下回ったが、70%以上の高率を維持。 2. 防災フェスティバルでは、スタッフ含め200名を超える参加者を迎え、盛大に行うことが出来た。起震車・煙テント・水消火器体験のほか、資機材展示により松風台の防災活動の紹介を行うことが出来た。 さらに、何名かの参加者から防災会加入の意思表示があり、有意義な活動となった。 ★2 次年度以降への課題 防災会参加メンバーの増強が図れる環境が出来つつあるが、まだまだ組織活動が期待できるほどの規模になっていない。松風台の課題としてとらえ、防災会だけではなく自治会全体の活動として継続して働きかける必要がある！ 1. 火災クラスター地域を意識し、火を出さない対策と啓蒙を継続。 2. 防災会活性と次世代育成に関わる事業を引き続き実施。 現状組織で出来る活動を集中的に実行 防災イベントを2024年度で終わらせず継続できるよう企画・実行